

緩やかに発散する級数

中嶋 慧

February 23, 2021

Abstract

$\{f_k\}_{k=m}^{\infty}$ を正の単調減少数列とする。和

$$S(N) := \sum_{k=m}^N f_k \quad (0.1)$$

が $N \rightarrow \infty$ で $\ln \ln N$ や $\ln \ln \ln N$ や $\ln \ln \ln \ln N$ で発散するような f_k を与える。また、 $\{p_n\}_{n=m}^{\infty}$ を確率とすると、シャノン・エントロピー

$$H := - \sum_n p_n \ln p_n \quad (0.2)$$

が発散する例を与える。

1 緩やかに発散する級数

$f(x)$ は区間 $[m-1, n]$ で正で単調減少とすると、

$$\int_m^n dx f(x) < \sum_{k=m}^n f(k) < \int_m^n dx f(x-1) \quad (1.1)$$

である。よって、

$$I(m, N) := \int_m^N dx f(x) \quad (1.2)$$

が $N \rightarrow \infty$ で発散するなら、

$$S(N) := \sum_{k=m}^N f(k) \quad (1.3)$$

も発散する。また、 $I(m-1, N-1)$ が $N \rightarrow \infty$ で収束するなら、 $S(N)$ も収束する。

$\alpha \geq 0$ とし、

$$f_{1,\alpha}(x) := \frac{1}{x(\ln x)^\alpha}, \quad (1.4)$$

$$f_{2,\alpha}(x) := \frac{1}{x \ln x (\ln \ln x)^\alpha}, \quad (1.5)$$

$$f_{3,\alpha}(x) := \frac{1}{x \ln x \ln \ln x (\ln \ln \ln x)^\alpha} \quad (1.6)$$

とすると、これらは m を適当に大きくすると、 $x \geq m - 1$ で正で単調減少とする。

$$I_{n,\alpha}(m, N) := \int_m^N dx f_{n,\alpha}(x), \quad (1.7)$$

$$S_{n,\alpha}(N) := \sum_{k=m}^N f_{n,\alpha}(k) \quad (1.8)$$

とすると、

$$I_{n,\alpha}(m, N) < S_{n,\alpha}(N) < I_{n,\alpha}(m - 1, N - 1) \quad (1.9)$$

である。 $t = \ln x$ とすると、

$$dt = \frac{dx}{x} \quad (1.10)$$

なので、

$$I_{1,\alpha}(m, N) = \int_{\ln m}^{\ln N} \frac{dt}{t^\alpha} \quad (1.11)$$

であり、 $\alpha > 1$ で $N \rightarrow \infty$ でも収束する。 $\alpha = 1$ とすると、

$$I_{1,1}(m, N) = \ln \ln N - \ln \ln m \quad (1.12)$$

であり、 $S_{1,1}(N)$ は $\ln \ln N$ で発散する。

また、

$$\begin{aligned} I_{2,\alpha}(m, N) &= \int_{\ln m}^{\ln N} \frac{dt}{t(\ln t)^\alpha} \\ &= \int_{\ln \ln m}^{\ln \ln N} \frac{ds}{s^\alpha} \end{aligned} \quad (1.13)$$

であり、 $\alpha > 1$ で $N \rightarrow \infty$ でも収束する。 $\alpha = 1$ とすると、

$$I_{2,1}(m, N) = \ln \ln \ln N - \ln \ln \ln m \quad (1.14)$$

であり、 $S_{2,1}(N)$ は $\ln \ln \ln N$ で発散する。

また、

$$\begin{aligned} I_{3,\alpha}(m, N) &= \int_{\ln \ln m}^{\ln \ln N} \frac{ds}{s(\ln s)^\alpha} \\ &= \int_{\ln \ln \ln m}^{\ln \ln \ln N} \frac{du}{u^\alpha} \end{aligned} \quad (1.15)$$

であり、 $\alpha > 1$ で $N \rightarrow \infty$ でも収束する。 $\alpha = 1$ とすると、

$$I_{3,1}(m, N) = \ln \ln \ln \ln N - \ln \ln \ln \ln m \quad (1.16)$$

であり、 $S_{3,1}(N)$ は $\ln \ln \ln \ln N$ で発散する。

2 シャノン・エントロピーが発散する例

$\alpha > 1$ とし、

$$p_n := \frac{f_{1,\alpha}(n)}{S}, \quad S := S_{1,\alpha}(\infty) \quad (2.1)$$

は確率となる。このとき、

$$\begin{aligned} \ln p_n &= \ln f_{1,\alpha}(n) - \ln S \\ &= -\ln(n(\ln n)^\alpha) - \ln S \end{aligned} \quad (2.2)$$

となる。よって、

$$\begin{aligned} -p_n \ln p_n &= \frac{\ln n + \alpha \ln \ln n + \ln S}{n(\ln n)^\alpha S} \\ &= \frac{1}{n(\ln n)^{\alpha-1} S} + \frac{\alpha \ln \ln n + \ln S}{n(\ln n)^\alpha S} \end{aligned} \quad (2.3)$$

である。第2項の和は収束するが、 $1 < \alpha \leq 2$ なら第1項の和は発散する。